

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】令和3年12月16日(2021.12.16)

【公表番号】特表2021-514139(P2021-514139A)

【公表日】令和3年6月3日(2021.6.3)

【年通号数】公開・登録公報2021-025

【出願番号】特願2020-543312(P2020-543312)

【国際特許分類】

H 04 W 28/20 (2009.01)

【F I】

H 04 W 28/20

【手続補正書】

【提出日】令和3年11月5日(2021.11.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ユーザ機器(UE)におけるワイヤレス通信の方法であって、
無線周波数(RF)能力情報およびベースバンド能力情報を備えるUE能力情報を決定することと、前記ベースバンド能力情報は、又メロロジを示す少なくとも1つの他のベースバンドパラメータを備え、前記RF能力情報は、少なくとも1つの帯域組合せに関してRF能力を示し、ここにおいて、前記RF能力情報は、前記又メロロジが前記少なくとも1つの帯域組合せ内の特定のRF帯域についてサポートされるかどうかを示す前記少なくとも1つの他のベースバンドパラメータのインデックスを備え、
前記UE能力情報を基地局にシグナリングすることと、
を備える、方法。

【請求項2】

前記少なくとも1つの他のベースバンドパラメータは、帯域ごとに示される、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記少なくとも1つの他のベースバンドパラメータのベースバンドパラメータについてのサポートは、識別子(ID)を使用して示される、請求項2に記載の方法。

【請求項4】

前記少なくとも1つの他のベースバンドパラメータのベースバンドパラメータについてのサポートは、コンポーネントキャリア(CC)ごとに示される、請求項1に記載の方法。
。

【請求項5】

CCについての前記少なくとも1つの他のベースバンドパラメータの前記ベースバンドパラメータについての前記サポートは、識別子(ID)を使用して示される、請求項4に記載の方法。

【請求項6】

前記少なくとも1つの他のベースバンドパラメータの前記ベースバンドパラメータについての前記サポートは、帯域ごと、およびCCごとに示される、請求項4に記載の方法。

【請求項7】

前記RF能力情報は、前記少なくとも1つの他のベースバンドパラメータのベースバン

ドパラメータの対応する識別子（ID）に関して、前記ベースバンドパラメータについてのサポートを示す、請求項1に記載の方法。

【請求項8】

前記ベースバンドパラメータは、前記対応するIDに関して帯域パラメータのサポートを示す、請求項7に記載の方法。

【請求項9】

前記ベースバンドパラメータは、前記対応するIDに関してコンポーネントキャリア（CC）パラメータについてのサポートを示す、請求項8に記載の方法。

【請求項10】

前記少なくとも1つの他のベースバンドパラメータは、前記UEによってサポートされる能力のリストに含まれる、請求項1に記載の方法。

【請求項11】

能力の前記リストにおける各能力は、対応する他のベースバンドパラメータ識別子（ID）を有する、請求項10に記載の方法。

【請求項12】

前記少なくとも1つの帯域組合せは、帯域幅組合せセット識別子を備え、前記RF能力情報は、前記帯域幅組合せセット識別子に関して、複数のベースバンドのうちの1つについてのRF能力を示す、請求項1に記載の方法。

【請求項13】

前記少なくとも1つの他のベースバンドパラメータは、複数のRF帯域にわたって共通である、請求項1に記載の方法。

【請求項14】

前記少なくとも1つの帯域組合せは、前記ヌメロロジと、レイヤまたは帯域幅のうちの少なくとも1つと、を備える組合せを示す、請求項1に記載の方法。

【請求項15】

前記RF能力情報は、前記ヌメロロジ、前記レイヤ、および前記帯域幅が特定の帯域組合せについてサポートされるかどうかを示す、請求項14に記載の方法。

【請求項16】

前記UE能力情報は、帯域幅クラスの指示なしでシグナリングされる、請求項1に記載の方法。

【請求項17】

前記少なくとも1つの帯域組合せは、複数の帯域組合せを定義し、前記少なくとも1つの帯域組合せは、前記ヌメロロジと、レイヤおよび複数の帯域幅クラスのうちの帯域幅クラスのうちの少なくとも1つと、を備え、前記RF能力情報は、前記複数の帯域幅クラスのうちの1つについてのRF能力を示す、請求項1に記載の方法。

【請求項18】

ユーザ機器（UE）におけるワイヤレス通信のための装置であって、無線周波数（RF）能力情報およびベースバンド能力情報を備えるUE能力情報を決定するための手段と、前記ベースバンド能力情報は、ヌメロロジを示す少なくとも1つの他のベースバンドパラメータを備え、前記RF能力情報は、少なくとも1つの帯域組合せに関してRF能力を示し、ここにおいて、前記RF能力情報は、前記ヌメロロジが前記少なくとも1つの帯域組合せ内の特定のRF帯域についてサポートされるかどうかを示す前記少なくとも1つの他のベースバンドパラメータのインデックスを備え、

前記UE能力情報を基地局にシグナリングするための手段と、
を備える、装置。

【請求項19】

前記少なくとも1つの他のベースバンドパラメータのベースバンドパラメータについてのサポートは、識別子（ID）を使用して帯域ごとに示される、請求項18に記載の装置。

【請求項20】

前記少なくとも1つの他のベースバンドパラメータのベースバンドパラメータについてのサポートは、コンポーネントキャリア（CC）ごとに、および識別子（ID）を使用して示される、請求項18に記載の装置。

【請求項21】

前記少なくとも1つの他のベースバンドパラメータの前記ベースバンドパラメータについての前記サポートは、帯域ごと、およびCCごとに示される、請求項20に記載の装置。

【請求項22】

前記RF能力情報は、前記少なくとも1つの他のベースバンドパラメータの対応する識別子（ID）について、前記少なくとも1つの他のベースバンドパラメータのベースバンドパラメータについてのサポートを示す、請求項18に記載の装置。

【請求項23】

コンポーネントキャリア（CC）パラメータについての前記サポートは、前記対応するIDについて示される、請求項22に記載の装置。

【請求項24】

前記少なくとも1つの他のベースバンドパラメータは、前記UEによってサポートされる能力のリストに含まれ、能力の前記リストにおける各能力は、対応する他のベースバンドパラメータ識別子（ID）を有する、請求項18に記載の装置。

【請求項25】

前記少なくとも1つの帯域組合せは、帯域幅組合せセット識別子を備え、前記RF能力情報は、前記帯域幅組合せセット識別子について、複数のベースバンドのうちの1つについてのRF能力を示す、請求項18に記載の装置。

【請求項26】

前記少なくとも1つの他のベースバンドパラメータは、複数のRF帯域にわたって共通である、請求項18に記載の装置。

【請求項27】

前記少なくとも1つの帯域組合せは、前記又メロロジと、レイヤまたは帯域幅のうちの少なくとも1つと、を備える組合せを示す、請求項26に記載の装置。

【請求項28】

前記RF能力情報は、前記又メロロジ、前記レイヤ、および前記帯域幅が特定の帯域組合せについてサポートされるかどうかを示す、請求項27に記載の装置。

【請求項29】

前記UE能力情報は、帯域幅クラスの指示なしでシグナリングされる、請求項18に記載の装置。

【請求項30】

前記少なくとも1つの帯域組合せは、複数の帯域組合せを定義し、前記少なくとも1つの帯域組合せは、前記又メロロジと、レイヤおよび複数の帯域幅クラスのうちの帯域幅クラスのうちの少なくとも1つとを備え、前記RF能力情報は、前記複数の帯域幅クラスのうちの1つについてのRF能力を示す、請求項18に記載の装置。

【請求項31】

ユーザ機器（UE）におけるワイヤレス通信のための装置であって、メモリと、

前記メモリに結合された少なくとも1つのプロセッサと、を備え、前記少なくとも1つのプロセッサは、

無線周波数（RF）能力情報を備えるUE能力情報を決定することと、前記ベースバンド能力情報は、又メロロジを示す少なくとも1つの他のベースバンドパラメータを備え、前記RF能力情報は、少なくとも1つの帯域組合せについてRF能力を示し、ここにおいて、前記RF能力情報は、前記又メロロジが前記少なくとも1つの帯域組合せ内の特定のRF帯域についてサポートされるかどうかを示す前記少なくとも1つの他のベースバンドパラメータのインデックスを備え、

UE能力情報を基地局にシグナリングすることと、
を行うように構成される、装置。

【請求項 3 2】

前記少なくとも1つの他のベースバンドパラメータのベースバンドパラメータについてのサポートは、帯域ごとに識別子（ID）を使用して示される、請求項31に記載の装置。

【請求項 3 3】

前記少なくとも1つの他のベースバンドパラメータについてのサポートは、コンポーネントキャリア（CC）ごとに識別子（ID）を使用して示される、請求項31に記載の装置。

【請求項 3 4】

前記少なくとも1つの他のベースバンドパラメータについてのサポートは、帯域ごと、およびCCごとに示される、請求項33に記載の装置。

【請求項 3 5】

前記RF能力情報は、前記少なくとも1つの他のベースバンドパラメータの対応する識別子（ID）について、前記少なくとも1つの他のベースバンドパラメータのベースバンドパラメータについてのサポートを示す、請求項31に記載の装置。

【請求項 3 6】

前記少なくとも1つの他のベースバンドパラメータは、前記対応するIDについてコンポーネントキャリア（CC）パラメータについての前記サポートを示す、請求項35に記載の装置。

【請求項 3 7】

前記少なくとも1つの他のベースバンドパラメータは、前記UEによってサポートされる能力のリストに含まれ、能力の前記リストにおける各能力は、対応する他のベースバンドパラメータ識別子（ID）を有する、請求項31に記載の装置。

【請求項 3 8】

前記少なくとも1つの帯域組合せは、帯域幅組合せセット識別子を備え、前記RF能力情報は、前記帯域幅組合せセット識別子について、複数のベースバンドのうちの1つについてのRF能力を示す、請求項31に記載の装置。

【請求項 3 9】

前記少なくとも1つの他のベースバンドパラメータは、複数のRF帯域にわたって共通である、請求項31に記載の装置。

【請求項 4 0】

前記少なくとも1つの帯域組合せは、前記又メロロジと、レイヤまたは帯域幅のうちの少なくとも1つと、を備える組合せを示す、請求項39に記載の装置。

【請求項 4 1】

前記RF能力情報は、前記又メロロジ、前記レイヤ、および前記帯域幅が特定の帯域組合せについてサポートされるかどうかを示す、請求項40に記載の装置。

【請求項 4 2】

前記UE能力情報は、帯域幅クラスの指示なしでシグナリングされる、請求項31に記載の装置。

【請求項 4 3】

前記少なくとも1つの帯域組合せは、複数の帯域組合せを定義し、前記少なくとも1つの帯域組合せは、前記又メロロジと、レイヤおよび複数の帯域幅クラスのうちの1つの帯域幅クラスのうちの少なくとも1つとを備え、前記RF能力情報は、前記複数の帯域幅クラスのうちの1つについてのRF能力を示す、請求項31に記載の装置。

【請求項 4 4】

ユーザ機器（UE）におけるワイヤレス通信のためのコンピュータ実行可能コードを記憶する非一時的コンピュータ可読媒体であって、前記コードは、プロセッサによって実行されると、前記プロセッサに、

無線周波数（RF）能力情報およびベースバンド能力情報を備えるUE能力情報を決定することと、前記ベースバンド能力情報は、又メロロジを示す少なくとも1つの他のベースバンドパラメータを備え、前記RF能力情報は、少なくとも1つの帯域組合せに関してRF能力を示し、ここにおいて、前記RF能力情報は、前記又メロロジが前記少なくとも1つの帯域組合せ内の特定のRF帯域についてサポートされるかどうかを示す前記少なくとも1つの他のベースバンドパラメータのインデックスを備え、

UE能力情報を基地局にシグナリングすることと、
を行わせる、非一時的コンピュータ可読媒体。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0125

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0125】

[00135] 先の説明は、当業者が本明細書で説明されている様々な態様を実施することを可能にするために提供されている。これらの態様に対する様々な修正は、当業者に容易に明らかとなり、本明細書で定義される包括的な原理は他の態様に適用され得る。したがって、特許請求の範囲は、本明細書に示されている態様に限定されることが意図されたものではなく、請求項の文言と矛盾しない最大範囲であると認められるべきであり、ここにおいて、単数の要素の参照は、そのように明確に記載されていない限り、「1つおよび1つのみ」を意味するのではなく、むしろ「1つまたは複数」を意味するように意図されている。「例示的な」という用語は、本明細書では、「例、事例、または例示としての役割を果たす」ことを意味するように使用されている。「例示的な」ものとして、本明細書で説明される任意の態様は、必ずしも他の態様に対して好ましいまたは有利なものとして解釈されるべきではない。別段明記されていない限り、「いくつかの」という用語は1つまたは複数を指す。「A、B、またはCのうちの少なくとも1つ」、「A、B、またはCのうちの1つまたは複数」、「A、B、およびCのうちの少なくとも1つ」、「A、B、およびCのうちの1つまたは複数」、および「A、B、C、またはこれらの任意の組合せ」などの組合せは、A、B、および/またはCの任意の組合せを含み、複数のA、複数のB、または複数のCを含み得る。特に、「A、B、またはCのうちの少なくとも1つ」、「A、B、またはCのうちの1つまたは複数」、「A、B、およびCのうちの少なくとも1つ」、「A、B、およびCのうちの1つまたは複数」、および「A、B、C、またはこれらの任意の組合せ」などの組合せは、Aのみ、Bのみ、Cのみ、AとB、AとC、BとC、またはAとBとCであり得、ここで、このような任意の組合せが、A、B、またはCの1つまたは複数のメンバーを含み得る。当業者に既知である、または後に知られることがある、本開示全体にわたって説明された様々な態様の要素に対するすべての構造的および機能的な同等物が、参照によって本明細書に明確に組み込まれ、特許請求の範囲によって包含されることが意図されている。さらに、本明細書で開示されたものが、特許請求の範囲に明示的に記載されているかどうかにかかわらず、そのような開示は公に寄与されることを意図したものではない。「モジュール」、「メカニズム」、「要素」、「デバイス」などの用語は、「手段」という用語の代用でないこともある。このように、いずれの請求項の要素も、その要素が「～のための手段」というフレーズを使用して明示的に記載されていない限り、ミーンズプラスファンクションとして解釈されるべきではない。

以下に本願の出願当初の特許請求の範囲に記載された発明を付記する。

[C1]

ユーザ機器（UE）におけるワイヤレス通信の方法であって、

少なくとも1つのUE能力を決定することと、

UE能力情報を基地局にシグナリングすることと、

を備え、前記シグナリングすることは、

少なくとも1つの帯域組合せに関して無線周波数（RF）能力情報を前記基地局にシ

グナリングすることと、

少なくとも 1 つの他のベースバンドパラメータを前記基地局にシグナリングすることと、ここにおいて、前記 RF 能力情報は、前記少なくとも 1 つの他のベースバンドパラメータについて RF 能力を示す、
を含む、方法。

[C 2]

前記少なくとも 1 つの他のベースバンドパラメータは、帯域ごとに示される、C 1 に記載の方法。

[C 3]

前記少なくとも 1 つの他のベースバンドパラメータのベースバンドパラメータについてのサポートは、識別子 (ID) を使用して示される、C 2 に記載の方法。

[C 4]

前記少なくとも 1 つの他のベースバンドパラメータの前記ベースバンドパラメータについてのサポートは、コンポーネントキャリア (CC) ごとに示される、C 1 に記載の方法。

[C 5]

C C についての前記少なくとも 1 つの他のベースバンドパラメータの前記ベースバンドパラメータについての前記サポートは、識別子 (ID) を使用して示される、C 4 に記載の方法。

[C 6]

前記少なくとも 1 つの他のベースバンドパラメータのベースバンドパラメータについてのサポートは、帯域ごと、および CC ごとに示される、C 1 に記載の方法。

[C 7]

前記 RF 能力情報は、前記他のベースバンドパラメータについての対応する識別子 (ID) について、前記少なくとも 1 つの他のベースバンドパラメータのベースバンドパラメータについてのサポートを示す、C 1 に記載の方法。

[C 8]

他の各ベースバンドパラメータは、前記対応する ID について帯域パラメータのサポートを示す、C 7 に記載の方法。

[C 9]

他の各ベースバンドパラメータは、前記 ID についてコンポーネントキャリア (CC) パラメータについてのサポートを示す、C 8 に記載の方法。

[C 10]

前記少なくとも 1 つの他のベースバンドパラメータは、前記 UE によってサポートされる能力のリストに含まれる、C 1 に記載の方法。

[C 11]

前記 UE によってサポートされる能力の各セットは、対応する他のベースバンドパラメータ識別子 (ID) を有する、C 10 に記載の方法。

[C 12]

定義された各帯域組合せは、帯域幅組合せセット識別子を備え、前記 RF 能力情報は、前記帯域幅組合せセット識別子について、定義された複数のベースバンドのうちの 1 つについての前記 RF 能力を示す、C 1 に記載の方法。

[C 13]

前記少なくとも 1 つの他のベースバンドパラメータは、複数の RF 帯域にわたって共通である、C 1 に記載の方法。

[C 14]

各帯域組合せは、又メロロジ、レイヤ、または帯域幅のうちの少なくとも 1 つを備える組合せを示す、C 1 に記載の方法。

[C 15]

前記 RF 能力情報は、前記又メロロジ、前記レイヤ、および前記帯域幅が特定の帯域組

合せについてサポートされるかどうかを示す、C 1 4 に記載の方法。

[C 1 6]

前記 U E 能力情報は、帯域幅クラスの指示なしでシグナリングされる、C 1 に記載の方法。

[C 1 7]

複数の帯域組合せが定義され、各帯域組合せは、ヌメロロジ、レイヤ、および帯域幅クラスのうちの少なくとも 1 つを備え、

前記 R F 能力情報は、前記定義された複数の帯域幅クラスのうちの 1 つについての R F 能力を示す、C 1 に記載の方法。

[C 1 8]

ユーザ機器 (U E) におけるワイヤレス通信のための装置であって、

少なくとも 1 つの U E 能力を決定するための手段と、

基地局に U E 能力情報をシグナリングするための手段と、

を備え、ここにおいて、前記シグナリングのための手段は、

少なくとも 1 つの帯域組合せに関して無線周波数 (R F) 能力情報を前記基地局にシグナリングすることと、

少なくとも 1 つの他のベースバンドパラメータを前記基地局にシグナリングすることと、ここにおいて、前記 R F 能力情報は、前記少なくとも 1 つの他のベースバンドパラメータについて R F 能力を示す、

を行うように構成された、装置。

[C 1 9]

前記少なくとも 1 つの他のベースバンドパラメータのベースバンドパラメータについてのサポートは、識別子 (I D) を使用して帯域ごとに示される、C 1 8 に記載の装置。

[C 2 0]

前記少なくとも 1 つの他のベースバンドパラメータの前記ベースバンドパラメータについての前記サポートは、コンポーネントキャリア (C C) ごとに、および識別子 (I D) を使用して示される、C 1 8 に記載の装置。

[C 2 1]

前記少なくとも 1 つの他のベースバンドパラメータのベースバンドパラメータについての前記サポートは、帯域ごと、および C C ごとに示される、C 1 8 に記載の装置。

[C 2 2]

前記 R F 能力情報は、前記他のベースバンドパラメータについての対応する識別子 (I D) について、前記少なくとも 1 つの他のベースバンドパラメータの前記ベースバンドパラメータについての前記サポートを示す、C 1 8 に記載の装置。

[C 2 3]

コンポーネントキャリア (C C) パラメータについての前記サポートは、前記 I D について示される、C 2 2 に記載の装置。

[C 2 4]

前記少なくとも 1 つの他のベースバンドパラメータは、前記 U E によってサポートされる能力のリストに含まれ、前記 U E によってサポートされる能力の各セットは、対応する他のベースバンドパラメータ識別子 (I D) を有する、C 1 8 に記載の装置。

[C 2 5]

定義された各帯域組合せは、帯域幅組合せセット識別子を備え、前記 R F 能力情報は、前記帯域幅組合せセット識別子について、定義された複数のベースバンドのうちの 1 つについての前記 R F 能力を示す、C 1 8 に記載の装置。

[C 2 6]

前記少なくとも 1 つの他のベースバンドパラメータは、複数の R F 帯域にわたって共通である、C 1 8 に記載の装置。

[C 2 7]

各帯域組合せは、ヌメロロジ、レイヤ、または帯域幅のうちの少なくとも 1 つを備える

組合せを示す、C 2 6 に記載の装置。

[C 2 8]

前記 R F 能力情報は、前記又メロロジ、前記レイヤ、および前記帯域幅が特定の帯域組合せについてサポートされるかどうかを示す、C 2 7 に記載の装置。

[C 2 9]

前記 U E 能力情報は、帯域幅クラスの指示なしでシグナリングされる、C 1 8 に記載の装置。

[C 3 0]

複数の帯域組合せが定義され、各帯域組合せは、又メロロジ、レイヤ、および帯域幅クラスのうちの少なくとも 1 つを備え、

前記 R F 能力情報は、前記定義された複数の帯域幅クラスのうちの 1 つについての R F 能力を示す、C 1 8 に記載の装置。

[C 3 1]

ユーザ機器 (U E) におけるワイヤレス通信のための装置であって、

メモリと、

前記メモリに結合された少なくとも 1 つのプロセッサと、

を備え、前記少なくとも 1 つのプロセッサは、

少なくとも 1 つの U E 能力を決定することと、

U E 能力情報を基地局にシグナリングすることと、

を行うように構成され、前記シグナリングすることは、

少なくとも 1 つの帯域組合せに関して無線周波数 (R F) 能力情報を前記基地局にシグナリングすることと、

少なくとも 1 つの他のベースバンドパラメータを前記基地局にシグナリングすることと、ここにおいて、前記 R F 能力情報は、前記少なくとも 1 つの他のベースバンドパラメータについて R F 能力を示す、

を含む、装置。

[C 3 2]

前記少なくとも 1 つの他のベースバンドパラメータのベースバンドパラメータについてのサポートは、帯域ごとに、および識別子 (I D) を使用して示される、C 3 1 に記載の装置。

[C 3 3]

前記少なくとも 1 つの他のベースバンドパラメータについてのサポートは、コンポーネントキャリア (C C) ごとに、および識別子 (I D) を使用して示される、C 3 1 に記載の装置。

[C 3 4]

前記少なくとも 1 つの他のベースバンドパラメータについてのサポートは、帯域ごと、および C C ごとに示される、C 3 1 に記載の装置。

[C 3 5]

前記 R F 能力情報は、前記他のベースバンドパラメータについての対応する識別子 (I D) について、前記少なくとも 1 つの他のベースバンドパラメータのベースバンドパラメータについてのサポートを示す、C 3 1 に記載の装置。

[C 3 6]

前記他のベースバンドパラメータは、前記 I D についてコンポーネントキャリア (C C) パラメータについての前記サポートを示す、C 3 5 に記載の装置。

[C 3 7]

前記少なくとも 1 つの他のベースバンドパラメータは、前記 U E によってサポートされる能力のリストに含まれ、前記 U E によってサポートされる能力の各セットは、対応する他のベースバンドパラメータ識別子 (I D) を有する、C 3 1 に記載の装置。

[C 3 8]

定義された各帯域組合せは、帯域幅組合せセット識別子を備え、前記 R F 能力情報は、

前記帯域幅組合せセット識別子に関して、定義された複数のベースバンドのうちの1つについての前記RF能力を示す、C31に記載の装置。

[C39]

前記少なくとも1つの他のベースバンドパラメータは、複数のRF帯域にわたって共通である、C31に記載の装置。

[C40]

各帯域組合せは、又メロロジ、レイヤ、または帯域幅のうちの少なくとも1つを備える組合せを示す、C39に記載の装置。

[C41]

前記RF能力情報は、前記又メロロジ、前記レイヤ、および前記帯域幅が特定の帯域組合せについてサポートされるかどうかを示す、C40に記載の装置。

[C42]

前記UE能力情報は、帯域幅クラスの指示なしでシグナリングされる、C31に記載の装置。

[C43]

複数の帯域組合せが定義され、各帯域組合せは、又メロロジ、レイヤ、および帯域幅クラスのうちの少なくとも1つを備え、

前記RF能力情報は、前記定義された複数の帯域幅クラスのうちの1つについてのRF能力を示す、C31に記載の装置。

[C44]

ユーザ機器(UE)におけるワイヤレス通信のためのコンピュータ実行可能コードを記憶するコンピュータ可読媒体であって、前記コードは、プロセッサによって実行されると、前記プロセッサに、

少なくとも1つのUE能力を決定することと、

UE能力情報を基地局にシグナリングすることと、

を行わせ、前記シグナリングすることは、

少なくとも1つの帯域組合せに関して無線周波数(RF)能力情報を前記基地局にシグナリングすることと、

少なくとも1つの他のベースバンドパラメータを前記基地局にシグナリングすることと、ここにおいて、前記RF能力情報は、前記少なくとも1つの他のベースバンドパラメータについてRF能力を示す、

を含む、コンピュータ可読媒体。